



蒼生会

小林 幸悦 議員

田口市長の二期目の出馬は

質問 田口市長は、厳しい財政の立て直しのため様々なことに取組まれてきたが、コロナ禍・ウクライナ侵攻や円安による物価上昇等により市民は大きな影響を受けている。そのような状況下で、長い間待ち望んでいた旧角館病院の解体やインターナショナルスクールの誘致は明るい話題ではあるが、この先も厳しい市政運営が求められると思う。

田口市長は次期市長選に立候補し二期目を目指すのか伺う。

答弁 これまで市長を続けてこられたのは、市議会議員の皆様のご理解やご指導、職員の協力によって何とか前に進んでいると振り返っている。コロナ禍・ウクライナ侵攻もあったが、毎年のように発生する自然災害には、災害から市民の暮らしと命を守るということで駆け抜けて来た3年4カ月だった。

現状、任期をまだ8カ月残しており、出馬についての判断は時期尚早と考えている。直面している

課題解決に傾注し、残りの任期を全力で全うしたい。



■田口市長の1期目に解体が始まった旧角館総合病院

税以外の債権回収について

質問 税以外の債権を一元化し、債権回収事務の効率化に取り組んでいる自治体もあるが、本市では検討したことがあるか。

答弁 債権管理の一元化による徴収体制については、平成30年の収納推進課発足時に検討されたが、税以外の債権についての経緯や回収等の対応が各担当部署で異なっており、一元化の管理はできていない。

今後は、各部署において債権の状況によつては、収納推進課に移管するなどして、効率的な債権回収に取り組みたい。



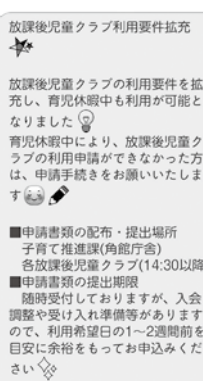
新成せんぼく

西宮 三春 議員

子育て支援の充実について

質問 放課後児童クラブの入会要件は、現状では育児休業中に利用ができない。母体の回復・育児に専念できる大切な期間への配慮に欠けるため、早急に入会要件を見直すことは出来ないか。

答弁 家庭の事情や保護者の事情等が一律ではないことから、本当に困っている方々に届くサービスを提供していきたい。



■早急要綱が拡充された放課後児童クラブ

令和7年度こども園・保育園入園に対する市の対応について

質問 入園を申し込んだ家庭が定員に関係なく受け入れ不可となった事案に対し、経緯と市民への対応について伺う。

答弁 園児数を鑑み、園での給食調理から外部搬入への切り換えを検討したため、離乳食提供が困難となる可能性があり、第2希望の園へお願いしたが、園内調理を継続し入園していただくこととなった。対象地域の皆様と意見交換や意思の疎通を図るべきだった。

質問 入園の面接の中で「入園できなかった場合どうするのか」という質問に対し、傷ついている保護者がいる。質問に配慮することは出来ないか。

答弁 質問する際、職員の配慮が足りなかったが、今後、より一層丁寧な説明、保護者の立場に立った話し方に改めていく。

仙北市民歌について

質問 仙北市民生から20年を迎えるが、市民が親しむことができる取り組みは。

答弁 市民の皆様と市民歌を歌うことを積極的に取り組んでいきたい。

その他の質問

◆病児・病後児保育事業の今後の具体的なスケジュールは
◆ノーコードツールの令和7年度の具体的な活用は



澤田 雅亮 議員

2025年度 部局経営方針 シートへの質疑 総務部について

質問 これからどのように人材を育て、確保、適材適所を行い特定の職員の負担増とならない配慮を行うのか。

答弁 若手職員は3年から5年のジョブローテーション、中堅職員は将来の役職等を見据えた配置にし、専門性・多面的な部分を強化していく。

質問 女性の多様なポストの具体的な役職はどこか。

答弁 男女共、適材適所に配置する必要もあり、管理職への登用も考える。現段階では、議会へ参与する女性管理職を検討中で面談等を行なっている。

企画部について

質問 角館高校との地域未来留学制度の企画の内容は。

答弁 角館高校の魅力を活かし、他県から生徒を募集する取り組みとなる。

質問 宿泊税は本来、財政難への補填では無い為、どのように考え事業者に説明するか。

答弁 目的税なので財政状況を改善する為の収入とはしない。観光資源の向上やプロモーションに投資したいと考えている。丁寧に宿泊施設や組合に説明していきたい。

市民福祉部について

質問 病児保育の現状と方向性は。

答弁 令和9年度に角館総合病院内の空き病棟を活用し改修に着手する予定で検討している。

観光文化スポーツ部について

質問 外務省が展開しているジャパンハウスの有効活用方法は。

答弁 現在一部の事業者が活用されているが、相談頂ければどの事業所でも対応する。民間の事業者と一緒に協力し取り組みたいと思う。

【その他の質問】

◆災害時の情報伝達効率的な取り組みについて

◆マル福や保育園の更新手続きを自動更新にできないか



日本共産党
平岡 裕子 議員

インターナショナルスクール 誘致事業について

質問 2月14日締結の協定内容について伺う。

答弁 ①市が学校の設立に協力し、学校側は設立を実行すること
②学校による周辺の環境への配慮
③地元企業の活用や地域住民の雇用
④地域との交流支援など市が学校の円滑運営に協力することを定めてある。

質問 乗り越えなければならない課題とは何か。

答弁 各種学校の認可である。9月に白岩校開校を目指しているが、認可されなければ、9月開校が危ぶまれる。また、本校舎の位置が、史跡調査を実施するため、まだ決定していない。

質問 学校設立後に、地域への経済効果を年間7億8千万円と予測しているが、軌道に乗るまでの期間をどれくらいとみているのか。

答弁 田沢湖畔に600人規模の学校ができた場合の試算である。白岩小学校の仮校舎から始め、3年から5年かけて湖畔へ移転し、

定員に達するには更に数年かかる
と見込んでいる。

角館西宮家の今後について

質問 JR東日本秋田支社に維持管理を委ね、宿泊施設開業を決定前に、地域住民への説明会を行うべきではなかったか。

答弁 田沢湖角館観光協会・JR東日本秋田支社・仙北市3者で「仙北市における観光まちづくりに関する連携協定書」を締結しており、令和2年3月、二つの蔵を改装して開業した「和のぬ角館」に続き、令和3年から全体の活用が可能か検討を重ねてきた。方向性がある程度まとまった段階で説明会を開催した。



■まもなく、町なかから消えて
しまう西宮家のお店

【その他の質問】

◆生活環境消防力向上のために分団への活動支援について

◆公共施設の維持管理について



田口 寿宜 議員

ハラスメント対策について

質問 職場内におけるアンケート調査の実施状況及び、ハラスメントの有無について確認する。

答弁 アンケート調査は昨年末に実施し、職員の意識や実態を把握した上で防止対策を講じている。また、アンケートでは、「体を小突く」や「人前での感情的な叱責」など、パワハラに該当すべき事案が数%見受けられた。

質問 ハラスメントの根絶に向け、特別職・議員も対象に含めたハラスメント防止条例を制定すべきではないか。

答弁 ご指摘の特別職・議員も対象にした条例制定は、ハラスメントの防止に有効と考える。他自治体の条例等も研究し、今後の対策に取り入れていきたい。

令和7年度の施政方針から

質問 本市では、様々な子育て支援策を講じているが、出生数が伸びてこない現実がある。新たに策定した「仙北市こども計画」では、この現実をどのように分析し良い

方向に導いていくのか。

答弁 新たな子育て支援施策については、保護者へのニーズ調査を行い、ニーズとマッチングしているのか、どのような支援が求められているのか、施策の費用対効果を見極め、支援策の変更、拡充を検討していきたい。



子育て期待が
新たな効果
支援策
■

質問 移住定住と関係人口推進や高度外国人材等受入促進事業等は重要であるが、県外に出ている本市出身の若者が帰って来て、しっかりと生業を営める環境を創る事も必要ではないか。

答弁 本市出身者へ属性別アンケートなどで実態を把握した上で、例えば、高校3年生のいるご家庭などへの情報提供などを検討していきたい。また、子育て環境や余暇活動などの環境づくりも必要と考える。

【その他の質問】

◆国立・国定公園の候補地について



新成せんぼく
小田島広仁 議員

病院の経営改善対策について

質問 角館病院の病棟再編、実施時期、財政改善等について伺う。

答弁 病棟再編は、現行の4病棟から3病棟に、病床数は、170床を146床とする案を提示した。時期については7月1日に施行したい。収支の改善効果は、夜間看護手当等で年780万円の削減、診療単価の増により、年約800万円の増収が期待できる。

質問 田沢湖病院の病床機能見直し等と救急告示について伺う。

答弁 現在は、障がい者施設等一般病棟の運営だが、6月を目前に疾患の制限を受けずに入院できるように病床機能の見直しを図っていく。

救急告示については、救急医療体



■救急告示医療機関を目指す田沢湖病院

制の構築を目指し、関係機関と協議を行っている。今後は、秋田県地域医療構想との整合性を図り、スタッフの研修等も実施していく。

法定外目的税導入について

質問 法定外目的税導入の進捗状況、今後の進め方、活用内容について伺う。

答弁 財政健全化庁内検討委員会で方向性を検討しており、宿泊事業者に意見を伺うことから始めることとしている。今後はスピード感を持ち、導入時期を明確に定めたい。

活用内容については、観光業の方々の様々な課題を解決するため活用することとしたい。

答弁（観光文化スポーツ部長）現在、第3次観光振興計画を策定しており、内容を確認・検討する観光振興計画推進協議会に、宿泊事業者の方々も出席している。この協議会でも宿泊税導入の在り方を形にしたい。

【その他の質問】

◆市長が掲げる市政理念「幸福度全国No.1のまちづくり」について
◆移住定住事業の実績、課題、来年度の方向性等について



蒼生会
門脇 晃幸 議員

コロナ対策（市独自の施策）の検証について

質問 コロナ禍において、それによって理由に行った市独自の施策（事業譲渡含む）は、コロナ禍後も継承しているものはあるか。今後の対応を伺う。

答弁 継続事業として行政DX推進事業、地域力ステップアップ事業、テレワークワーケーション利用促進事業費補助金等がある。

新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態に対応した経験が今後の市政運営に生かされるよう努めていく。

令和の米騒動（ふるさと納税）対策は万全か

質問 昨年の秋は、返礼品の主力である米が集まらず苦戦した。結果としては寄付金が前年を上回ったが、依然不安定な状態が続いている。令和7年度米の集荷対策は万全か。

答弁 昨年度は、ふるさと納税の関係者が尽力して米不足を回避し、寄付総額は過去最高だった。

令和7年度も事業者が必要とする米を確保できるように、最大限のフォローを続ける。



■ふるさと納税返礼品の
コメの確保は万全か？

立地適正化計画について

質問 令和7年度から2力年を目途に国の財政支援を受けて策定（都市計画マスタープランも同時改訂）の予定だが、市長の未来の仙北市像（イメージ）を伺う。

答弁 人口が減少する中で、医療、福祉、子育て支援、商業等の都市機能を、都市の中心拠点や生活拠点に誘導、その周辺や公共交通の沿線に居住を促し、一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティの持続性が高まると考えられている。今後も仙北市が持続可能で在り続けるため、立地適正化計画を策定し、各施策に取り組んでいく。



蒼生会
高橋 輝彦 議員

令和7年度の当初予算について

質問 令和7年度の当初予算は、ふるさと納税を25億円も投入し、職員の給料までも充当している。この制度が廃止となれば、すぐに財政破綻ではないか。

答弁 指摘の通り、ふるさと納税がなければ予算が組めない状況にある。令和7年度は、旧角館病院解体・角館上野庁舎改修、北部斎場改修、市長選挙などの事業費増加で予算が膨らんでいる。

質問 厳しい財政状況の一因に特別会計と企業会計への24億円近い補助金等の支出があるが改善策は。

答弁 病院事業は11億円の補助金を出しても、令和6年度決算で資金不足比率が20%を超える。今後は抜本的な経営改善が義務付けられる。特別会計・企業会計の改善が急務である。

角館物産協会の使用料について

質問 角館樺細工伝承館で、仙北

市の観光振興と産業振興を担っている角館物産協会の使用料が、なぜ売上げの6・18%も徴収するのか。販売委託ではないので、市の行政財産使用料条例の使用料（定額）を適用するべきではないか。

答弁 これまで何十年も旧角館町の取り決めで継続してきたが、今の実情を鑑みる必要があるかと思うので、物産協会と腹を割って協議し、一番いい形にしたいと思っている。



■昭和54年からの使用料を
継続している伝承館

インターナショナルスクール白岩校の成功を

質問 開校当初だけでも、英語の話せる市職員を事務室に配置させるべきではないか。

答弁（企画部長）インターナショナルスクール側に配置していただく。

【その他の質問】

◆参議院議員選挙までバス等での移動投票所を導入するべき